

大会名称: **第34回李相栢盃日韓学生バスケットボール競技大会**

開催場所: **国立代々木競技場第二体育館**

試合区分: **No. 101**

期 日: **2011(H23)年5月21日 (土)**

主審: **平原 勇次**

開始時間: **19:00**

副審: **久保 裕紀・石黒 勉**

終了時間: **20:30**

日本学生	○ 79	13 -1st- 19 13 -2nd- 20 21 -3rd- 21 32 -4th- 18 -OT1- -OT2- -OT3-	● 78	韓国学生
-------------	----------------	---	----------------	-------------

第34回李相栢盃日韓バスケットボール競技大会第1戦。序盤から韓国学生選抜が高確率の3Pシュートと高さを活かし主導権を握る。日本学生選抜は#11比江島が孤軍奮闘するも差は開く一方。第3ピリオド終盤まで韓国学生選抜が20点以上のリードを奪う。しかし、日本学生選抜は#11比江島や#5辻らの活躍で怒濤の追い上げを見せる。韓国学生選抜は日本学生選抜の勢いを止めることができず、残り18秒にはついに逆転を許し、79-78で日本学生選抜が逆転勝ちを収めた。

第1ピリオド、韓国学生選抜は#9朴がこのピリオドのみで3Pシュート4本沈めるなど大当たりで序盤からリードを奪う。対する日本学生選抜は韓国学生選抜の高さに苦しみ得点が伸びず、#5辻や#15田中が単発で3Pシュートを決めるも、ついていくのが精一杯。19-13と韓国学生選抜リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、韓国学生選抜は#15金が高さを活かして得点を積み重ねる。さらに韓国学生選抜は#12金の3Pシュートなどで突き放しにかかるが、日本学生選抜は#11比江島が奮起し踏みとどまる。しかし、韓国学生選抜#14金、#15金のインサイド陣を止められず。39-26と韓国学生選抜が点差を二桁とし前半終了。

第3ピリオド、序盤は日本学生選抜#11比江島と韓国学生選抜#14金の点の取り合いとなる。中盤に入ると、韓国学生選抜は速攻や#6車、#9朴が3Pシュートを立て続けに沈めるなどし、60-39と点差を20点の大台に乗せる。しかし終盤、日本学生選抜は#5辻の3Pシュートを皮切りに、#13永吉のバスケットカウント、#11比江島の3Pシュートと続き、60-47と点差を一気に13点まで縮め最終ピリオドへ。

第4ピリオド、日本学生選抜は#7森川が果敢にカットインを仕掛け、さらに#5辻の2本の3Pシュートで徐々に点差を縮め、点差を一時一桁とするも、韓国学生選抜#14金のバスケットカウントなど連続得点を許し、残り5:24、75-59と再び点差を広げられたまらずタイムアウト。しかし、タイムアウト後流れは一気に日本学生選抜へ。日本学生選抜は#11比江島のバスケットカウント、#15田中の3Pシュート、さらに#11比江島が再び連続得点を挙げ、残り3:01、75-69と怒濤の追い上げを見せる。タイムアウトで流れを切りたい韓国学生選抜だが、タイムアウト明け、日本学生選抜のプレスディフェンスに苦しみミスを犯してしまう。さらに積み掛ける日本学生選抜は#8田渡が3Pシュートとミドルシュートを沈めついに1点差。韓国学生選抜は#4張が得点を上げるも、日本学生選抜#11比江島がバスケットカウントと勢いは止まらず。78-77と韓国学生選抜1点リードで迎えた残り18秒。比江島のカットインに合わせ#13永吉がミドルシュートを沈め、日本学生選抜がついに逆転に成功。韓国学生選抜は終了間際、合わせからゴール下の#14金にパスがでるもファブルしタイムアップ。79-78と日本学生選抜が大逆転で勝利した。